

# チュチェ思想の創始とその具現

## マドリード・チュチェ思想研究会

金日成主席が創始した独創的な思想であるチュチェ思想はロシア革命が帝国主義列強の攻撃を受け、朝鮮が日本帝国主義者によって侵略されていた歴史的な時期に誕生しました。幼年の時代から熱烈な篤学の士であった金日成主席は当時、読むことができたすべてのマルクス主義の古典を耽読しながら歴史的過程を研究し始め、明哲な思考力でマルクス主義思想を朝鮮の現実に具現することはマルクス主義古典がヨーロッパの現実を反映したことにより、ふさわしくないということに気づきました。なぜならば、マルクス主義を朝鮮とヨーロッパにともに具現する上で歴史的時期と社会的特徴が十分な影響力をもつからです。主席は具体的な分析を行った後、人民大衆は歴史の主体であり、自己の運命の主人であり、自分自身の運命を開拓し、自分自身の存在を改造していこうとする進歩的団体としての人民であるということを明らかにしました。

日本帝国主義の抑圧と確実に日本のものでない朝鮮のすべての物質的・文化的富の全滅を正当化するために日本帝国主義が使っていた婉曲法語の「共栄圏」から国を解放するための朝鮮革命で外部勢力が自国のことを決定することは意に介せず、ひたすら自分一人の利益のために闘争のリーダーシップを握ることを目的にしたさまざまな派閥争いが行われました。このような争いは朝鮮人民を分裂させただけで、彼らの正義の解放闘争に助けはおろか、障害を与えました。決心の採択で自主性を堅持するという概念はこの時期に示されました。なぜならば自分自身のために何をどうすべきなのかという決心は現存する封建的桎梏をうち壊し、自己の運命の主人となる目的で団結した朝鮮人民自身が一番よく下すからです。

人民大衆の福祉のための闘争に志を抱いて立ち上がることも重要ですが、正しい指導を受けなければならないということもやはり重要であり、必ず必要です。

領袖が示す革命路線は闘争の主体である人民大衆の福祉のための闘争が実を結ぶか、否かを決定します。決心が確固であり、人民大衆が団結してみんなが同時に一つの道へ進むならば、何でも成し遂げることができると知っている領袖は百戦百勝します。

それはこのような団結の力は打ち壊せないからです。

金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記のような立派な領袖は人民が何を要求し、願っているかをよく知っていました。チョンサンリ精神、チョンサンリ方法やテアン(大安)の事業体系はみんなの福祉のためにみんなが団結してどのように働くべきかを示す立派な指導方法であり、依然としてすべての部門で効果的です。この体系と方法は計画

に責任をもつ人であれば、誰もが計画の日別実態を抽象的にではなく、実際に知り、潜在的な諸問題にたいするより立派な総体的見解を確立するようにし、労働と作業を最大限に楽にするようにします。何よりもまず、みんなが提起する諸問題を調べ、解決するために事業の参観をよくするのが朝鮮の全地域に普遍化されています。

すべての人々が共同の理念のために団結して進むということは労働者、農民、インテリなど、みんなが一つの目的のためにみんなの福祉より重要でない互いの差を理解して団結させるための内的活動を排除するというものではありません。

階級、階層の意識は団結に障害を与えるのではなく、反対に有利です。互いの差を受け止め、共同の目的のために働けるということを知るのが何よりも団結を図ります。主席は反日闘争の初期からすべての階級、階層をいかなる場合にも分割せず、かえって富強で自主的な朝鮮を建設するという共同の目的のもとに各階層の団結を実現するために闘いました。

抗日革命家たちが朝鮮人民の生活条件を調べ、改善するために先頭に立って彼らの秋の取入れを助け、困難な労働から解放させ、人々に文字を教えるような称揚されるに値する行動をしたのは、家庭教育と無知によって頑固であった一部の人々をしてより立派な未来のためにみんなが団結して戦うのがより現実的であり、すべてを実現できるということを知るようにしました。

しかし、解決すべき深刻な問題がありました。その中の難問題の一つは民族主義者の問題でした。

民族主義者は自分だけが一番だと自称し、日本帝国主義に反対する上で最善の方途は外部勢力の援助を受けることであると見なしました。しかし、これは日本帝国主義の代わりに朝鮮人民を立ち遅れた民族と見なしながら従属させようとする他の帝国主義を引き入れる可能性がありました。新しい世代の共産主義者は凶悪な日本の支配から脱しようとする民族主義者の実際的な利害関係を無視せず、彼らの立場が正しくないことを悟らせました。それで強固な一つの団結が実現されました。この団結は打ち壊せない岩石のような団結、言い換えれば、鉄のような団結でした。それはすべての階級と階層が一つに結束する時、誰もそれを壊せないからです。領袖の賢明な指導のもとにすべての人を一つに結束させたのはチュチェの大きな力です。いかなる場合にも数百万の人々の団結した力に打ち勝つことができません。これは歴史の全過程に実証されました。

革命の道を人民自身のものにするためには、特に人民がなぜその道を選ぶべきかを理解させることに多くの努力を傾注しなければなりませんでした。

当時、これは大多数に新しくて未知の活動でした。そのために青年たちに当時の人々の間でよく知られていないマルクス・レーニン主義思想を教える学校が建てられました。

青年たちがマルクス・レーニン主義思想を理解し、知るようになれば、次は彼らが他の人々を教えるようにしました。これは彼らにとって責任的なことでした。これが一部の人々の間では相反する結果を招きかねませんでしたが、彼らを革命家に育成するための新たな前進となりました。それで彼らが自分たちが直接の参戦者であるという自覚をもってより積極性を発揮するようにし、すべての人がくり広げられるすべてのことを適時に知るように準備させました。

朝鮮革命の道は平坦ではありませんでした。その道には難関もあり、南朝鮮のように外部勢力に従属された今一つの朝鮮を作り出そうとする目的から外部勢力の指揮を受けながら自主性のための正義の闘争を妨げようとした反革命的要素があったことを知らなければなりません。

しかし、人民大衆の団結と立派な活動によって彼らは自分たちの企図を実現できなかったし、今後も実現できないでしょう。明確な思想をもって鉄のように団結した人民を屈服させることはできません。